

令和2年度

「一人一人の個性を活かし、仲間と高め合いながら、  
自分たちの質を高める」生徒会



# 後期生徒活動方針・計画に対する質問の返答



# 執行部 事務局

一人一人の個性を活かし、仲間と高め合いながら、自分たちの質を高める。

- 各部の活動の推進
- 文化交流



令和2年度 生徒会 後期活動計画 学級審議における質問と返答 執行部・事務局 部・局

学級	質問内容	質問に対する返答
3-2, 3-3 2-1	1月は具体的に何をするのか	質を高める1か月として、各学級の学級らしさをさらに高めます。学級ごとに高めている姿や大切にしていることの質ややり方をさらに工夫・改善し、よりよいものにしていきます。そしてその各学級のあゆみを昼の放送で全校に発信します。
1-4	コロナ対策について	文化集会：保健部や文芸部と連携し、マスクを着用、窓を全開にする、距離をとるなど対策を徹底します。会場はまだ検討中ですが、密にならないようにします。
2-5, 2-4 3-3, 3-1		絆バツリ集会(12月), 先輩と語る会：1つの教室に多くの人が入らないように、各学級の教室以外にも特別教室を複数使用し、密を避け実施します。マスクはもちろん、
2-2		窓を開けソーシャルディスタンスを確保し、消毒をするなど対策を行います。 絆バツリ集会(2月)：2月は各学級で行おうと考えています。その際もマスク、換気、距離確保、消毒、と対策に努めます。
2-3, 1-3	なぜタブレット交流をするのか	1つの教室に2クラス(60人超)が集まって密となるのを防ぐためです。ただし、体育館やグラウンド、中庭など広い会場で距離もとって行うのであれば、実際に合唱を聴き合う形で交流してもよいです。
1-3	自ら取り組めない人はどうするのか	学習や合唱が苦手な人もいます。そういう仲間には、クラスの仲間が積極的に関わり、その人なりに今までよりも取り組めるようにしてほしいです。そして、日常生活や行事に取り組み、いく中で、あたたかい関係を築いてほしいと思います。生徒会としては、このような仲間とのあたたかな関わりを昼の放送などで発信していきます。
1-1	個性をいかすとは	一人一人によさは必ずあるので、そのよさを大切にしていきます。絆バツリ集会では、一人一人のよさに目を向けたり、仲間のよさを大切にしながら関係性を育めるようにしたいです。
2-1, 2-3, 2-4, 3-4	自分らしさをどのように学年の仲間に伝えるのか	クラスで学級らしさを共有し、それを日常生活の姿で示したり、タブレットを使い、学級らしさが表れている姿を示しながら、その姿や行動に込めた思いやそれまでの学級のあゆみを語り、学年の仲間に伝えます。
1-1	先輩と語る会の話題は何か	内容については、現在検討中です。今考えているのは、3年生の先輩たちが加納中で生活してきた中で、何を大切に、どのような思いをもって生活してきたのか、上手くいかなかったときにどのように乗り越えたのか、仲間との関わりから何を学んだのか、加納中で学んだことをここからの人生でどう生かし、どのように生きていくのかなどを語っていただきたいです。



令和2年度 生徒会 後期活動計画 学級審議における質問と返答 執行部・事務局 部・局

学級	質問内容	質問に対する返答
		このような内容を語っていただければ、1,2年生の私たちも一つ一つの活動の意味や価値に気づけ、見通しをもって取り組めると思います。また、1,2年生は事前に質問を考えもらい、3年生の先輩にその質問に答えてもらいたいと考えています。
3-1,2-3, 3-3	3年生は3月に入ってすぐ卒業してしまいが、どのように学年の仲間に伝えるのか	3年生は2月から交流を行い、3月は後輩に学校生活の手本を示していただきたいと思います。
	タブレット交流はどのように行うのか	自学公開と同様に、自分たちのよさやこだわりを、映像とともに伝えます。
2-3	目標を定めるとは	後期の一役に立候補した際に、それぞれ目標を定めたと思います。その目標を再確認して、達成できるように動きます。 しかし、日常生活を行う中で、自分自身も仲間も変わってくると思うので、目標も定期的に更新していく必要があると思います。そこで、あゆみの「今を見つめる」で日々一役や班活動、学級の様子を振り返っている中で、そこで定期的に目標や目指す姿を更新していく下せし。 また、短学活などにおいて班の活動を振り返っていると思います。班の目標も日々の活動を通して、目標や目指す姿を定めていき、班のファイルや掲示がある学級はきちんとそこに位置付けていってほしいです。
2-4,2-5 A	「自学」「自治」「自愛」の姿とは	自学：一人で学ぶ、仲間と学ぶことによさを実感し、自ら授業に参加して自分と仲間を高める姿 自治：自分の一役や班活動、学級の仲間との活動において、自ら考えて行動したり、上手くいかないことも仲間と協力して解決しようとする姿 自愛：一人一人が自分のよさを自覚し、仲間のよさを認め、思いやりの気持ちをもって一人一人の個性を尊重する姿
2-2,3-2	学習発表会後について	各学級でどのような姿、思いが生まれたのか、そして何がどのように高まったのかを振り返ります。その各学級の高まりを今後さらに高めていくためには、何が必要なのかを考え、高めたいと思います。改善するところがある場合は、仲間と協力し合い、改善できるように努めます。生徒会としては、その高まりや改善しようとする姿、思いを昼の放送などで発信していきます。





# 生活部

日常生活一つ一つにこだわりをもち  
共に高め合い絆を深める

○挨拶の推進

○交通安全



学級	質問内容	質問に対する返答
2-3	あいさつ活動は3つの組織以外も参加してほしいか。	沢山の人が自主的にボランティアとして参加していただくと嬉しいです。
3-5	12月に財産づくりは早すぎるのではなにか。	12月には文化集会恒例があるので、文化集会までの時間行動、身振り手振の海を振り返るとともに、これからの学級の海につなげたいと考えています。
2-5	ボランティアはどのように集めるか。	各学級の生活部や放送を通して、全校の井村さんにお知らせしていきます。
3-1	清掃を行う意味を考える時期が遅いのでは。	2月、3月頃に行くと、清掃人の意識が少し低くなるか感じたので、あくまで再確認の程で行っていきます。
1-1	あいさつでどのように関わりを深めるのか。	挨拶を行うことにより、仲間とのコミュニケーションを得ることができると思いますが、そこで挨拶を通して、より良い人間関係を作りたいと考えています。
2-4	自転車がキツキツに詰められると、帰宅する際に抜にくい人が集まって密になってしまうのでは、そこはどのように見直すのか。	部活がある人(下校が遅い人)・帰宅部(下校が早い人)で場所を渡えるほど生活部で考えていきます。
11	あいさつ運動の基準が命がけ、やりにくい。	具体的基準は一斉部会において決めています。
2-2	どこで挨拶を行うのか。	主に晴れた日は、生徒玄関前で行い、雨の日は廊下などの校舎で行いたいのと考えています。
3-3	「整美部」とクラブに力いて(委員)	時間い、早い清掃をする事は生活の時間行動にもつながると思ったからです。
11	交通マナーを個人が気づけるためには。	交通安全指導を積極的にを行い、向全マップを活用していきます。
		→(危険な場所など放送し、伝えていきます)
3-2	12月の取り組み具体的に	各クラスの現状に応じて、内容を決めています。

# 文芸部

みんなで作る、磨き上げる文化

- 合唱練習の充実
- 合唱交流
- 自学館の利用率の向上



令和2年度 生徒会 後期活動計画 学級審議における質問と返答 文芸 部・局

学級	質問内容	質問に対する返答
1-1 3-3 1-4	合唱のときのコロナ対策は	放送でも伝えたように、マスクは必ず着用して、合唱する前にリノバス消毒をお願いします。
2-2	合唱練習についての決まり	このことや練習時間が10分と限られているので、時間を有効的に使ってください。
1-2	合唱練習の場所指定は	文芸部員に特別教室の割りぶりの紙を配付しました。なので、部員さんの指示に従って各自場所に移動してください。
2-1	合唱交流のビデオは誰が録るのか	先生か文芸部員、班の人に録るよう頼んでください。
2-3	合唱交流は兄弟学級だけか (11月)	最低でも兄弟学級と必ずしてほしいです。それは、これから先に向けて、先輩と関わり、いくことで少しでも先輩たちの頑張りを東郷で、自分たちのクラスでも生かされると思うからです。
2-5	文化集会はどのように行おうか	例年だと全校で集まり、各クラス・学年で発表して、自学級の文化を全校で共有することができました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全校で集まることができませんが、規模を縮小して合唱交流の会をカラマホホール(予定)で各クラス発表できた方がいいかと考えています。
1-3	「クラスの文化を表現する」とはどのようなことか	全校集会で話した通りで、学級目標を掲げず中々出来上がった学級の良さや、また、活動していく中で生まれた思いや「価値観」を合唱で表現することです。
2-2	新しい発見とは	前期ついにフェスティバルも通って、全校が本をふれ合うことで、考え方が広がった本がキャンペーンを通して、借りられるようになりました。このように本を通して新たな発見をぜひほしいということです。
2-1	どのようにキャンペーンをするか	今のところキャンペーンは考えていませんが、今後文芸部が考えたことを思っています。
1-1	2月に後期期末テストがあるけど合唱交流をして大丈夫か	合唱交流はビデオでの交流で行うので大丈夫です。
3-1	2月に合唱したい感染症にかかり受験に影響するのでは	11月と同じようにビデオでの交流のため大丈夫だと思います。また、体育館など広い場所を距離をとって行うことを考えています。



令和2年度 生徒会 後期活動計画 学級審議における質問と返答 文芸部・局

学級	質問内容	質問に対する返答
3-1	本の活動が少ないのでは	後期は合唱にかを入るが毎月本紹介・特別展をして、自学館の利用率を前期のよりに維持していきたいと考えています。
3-2	1月の自学館特別展人は来ないのでは？	テーマをもって特別展を行い、事前に放送でお知らせします。
3-3	11月と12月の文化集会 2月の合唱交流の準備は	11月、12月は縦割りで行いますが、2月は各クラスの学級文化を縦割以外のクラスで交流できたらいいかと考えています。
	また、2月の合唱交流の練習が短いのでは	12月後半、1月から練習を始めてください。
3-4	「自学館特別展」をする中で何が得られるか	自学館に来るきっかけになればいいと考えています。
	自学館利用をどのように増やするか	特別展に関連する本を紹介できればいいかと考えています。



# 保体部

健康な体をつくり、  
活気あふれる加中を目指す

- 学級・学年全校レクの計画・実施
- 各部の活動における感染症対策の徹底  
「換気」「手洗い」

学級	質問内容	質問に対する返答
1-3	ウイルスの対策について	保体班を中心に手洗い・消毒の徹底を行ったりレクを計画して、活気あふれる加中を作っていきます。放送でも各クラスの良い活動の姿を行っていきます。
2-2	3月はコロナがおさまっているという せんいなのか	加中生全員の健康の意識を高め、感染症に対する予防は万全であるという願いがあります。
2-4	共有するための方法について	一番全校のみなさんに伝えやすい方法は放送なので、「〇組の△△という姿が良かった。たむすな」と具体的に話して共有していこうと思います。各学級でも伝えます。
2-4	学級レクはどの位のペースで 行おうか	三空を避けるだけでなく、各学級の絆を深める取組でもあると思います。学級の企画とも相談し、積極的に行ってほしいと思います。
3-1	12月の給食部と活動が かぶるのではないか。	活動計画に書いた通り、給食部と協力して取り組みます。食事について考え、発信していくことが健康な体作りにつながると思います。
3-2	ダンス以外の遊びをレクで 行いたい	おにぎりやボールを使ったレクは人が多く集まってしまう可能性があるため、ダンスなど間隔をわけて行えるレクの方が良いと考えたからです。 また、内容について、全校のみなさんから案を募集したいと考えています。
3-3	2月にレクを行うのは 受験に支障が出てしまう	時期を見直したり、学年レクの実施を行いたいと思います。
3-5	2月に行く予定のレクは 全校か学年か生徒割りが	自らは数少ない全校との関わりを大切にしたいので、行くとしたら全校レクか生徒割りの可能性の方が高いと思います。
3-4	睡眠不足の解消は、本当に 効果だけで直るのか。	気合いを入れて勉強するためには、まず健康であることが大切だと思います。そこで学習と睡眠の関係について発信することでも意識してもらえたらと思います。
3-5	手洗い・換気のルールは 各クラスで決めるのか	コロナ禍の新しい生活様式でのルールは吉村先生からアドバイスをいただき各クラスで工夫出来るのであればとんどん行いたいと思います。



# 整美部

一人一人が考えて動き、  
環境を整える

- 清掃の質の向上
- 机上、机列、ロッカーを整える

学級	質問内容	質問に対する返答
1-1	どこの環境を整えるのか。	教室や学校全体を整えます。(くつ箱・トイレのスリッパなど)
1-3	定期的にとは、どのくらいの歩負度で振り返るのか。	2週間に1回全校を見回り、放送で言います。
2-1	一人一人が考えて行動するには。	スタートの会でどこをどのように清掃するかと明確な目標を立て実行してもらいます。
2-4	清掃交流が2回ある意味	1回目は、清掃を広め、より高めた姿にすること。 2回目は、どこまでよい清掃にできたかを発信することが目的です。
2-5	次の学年に引きつぐ姿とは。	先輩のよい所を取り入れた姿や、1年間高めた姿を引きつぎます。
3-1	よい姿を交流して、こだわりをもつことで、清掃の質は上がるのか。	よい点を取り入れたり、悪い点を直すことで、姿の改善につながるかと考えています。
3-2	スローガンについて、ロッカーはどうなるのか。	ロッカーも一人一人がどうするよいかを考え、整えていくことを目指します。
3-2	清掃交流の方法	1回目は、タブレットで、撮影し、系徒割り学級で交流する。 2回目は、教員にかけて、部員が放送をします。
3-4	徹底はどうやるのか。	清掃交流や全校の見回りを通して、できていない人の姿を直していきます。



# 給食部

## 感謝して味わう給食時間

- 三点着用や消毒などの衛生面の徹底
- 完食
- 効率的で整頓された片付け

学級	質問内容	質問に対する返答
2-2	兄弟学級との交流方法	ワラスの給食部員が配膳の様子をビデオで撮り、兄弟学級に伝えていると考えています。
2-3	どうやって配膳を短くするのか。	各ワラスによって異なりますが、給食班を中心とした呼びかけや当番の動き出しを素早くしたりして配膳中に見つけた課題点を改善することで短くできると思っています。
3-1	10分配膳ではやく 11分配膳ではやくのか。	たしかに昨年までは10分配膳が当たり前でしたが今は配膳方法が変わり、密をでけたから行わなければいけません。なので最低でも11分台以内には配膳を終えさせたいと思っています。11分思いで11分配膳にしました。でも、もっとはやくできるワラスは9分、10分配膳を目指しています。
3-3	月の衛生面は具体的に何をするのか。	保健部と協力してワラスの消毒をワラスごとにもちろん、給食当番が履く帽子にはワラスごと細かい部分にも消毒していきたいです。
3-3	「0人分残してよい」 の食事は正しいのは。	早く食事をすることは良いと思うので、少し早く食事に近づき、最終的に食事が当たり前にできる状況にしていきたいです。2月上旬は「0人分残してよい」という活動を行い、下旬には食事ができる状況にしていきたいと考えています。
3-4	配膳のほや、ワラスの球を全校に発信したらどうか。	私たちが全校で良さを発信していきたいです。学年の中で1番配膳がほや、ワラスを求め球を放逐して通して伝えたいと思います。発信することによって他のワラスも配膳がほやくなると思うのでやっています。
3-5, A	放逐の球	前期の球にワラスの球を紹介することは続けていき、次の献立に出ている食べ物についての豆知識や栄養価についてクイズにしたり、残菜について「0人分残っていた」と教えることでわかりやすく、みんなが興味をもってもらえるようにしていきたいです。
3-5, A	食べきれない時はどうするのか。	1番ベストなのは1人1人がつけられた量を食わせることですが、体の大きさなどで大抵は食べきれないため、難しいです。なので、そういう人がいる時は食べる前に減らして食べられるように調整します。また、他の人以外で食べられる人たちが少しづつ分けて食べられるようにするといいと思います。でも無理に食べるのは体に良くないので自分の体と相談してから食べられる量を決めてください。



# 学習部

意見という名のバトンをつなぎ、  
一人一人が考えを広げ、深める

- 反応・話し方のこだわり
- 月の学習目標の達成

令和2年度 生徒会 後期活動計画 学級審議における質問と返答 学習 部・局

学級	質問内容	質問に対する返答
1-1, 2-4 1-5, 3-1	2月もモーニングスターをやるのか	計画表には書いていませんでしたが、11月も2月もやります。
1-2 3-4	具体的にどんな守りかけをやるのか	朝短や帰短で取組についての課題や振り返りなどをします。(取組中)
1-4	意見がうまく言えないうちはどうすればいいか?	まず、仲間の意見に対して、同じだと思ったり、賛成だっただけなら、「私は〇〇さんと同じです。賛成です」という話し方から始めると良いと思います。
2-2	月目標は必要か?	課題を月ごとに1つずつ直していくことで、よりよい授業をくれると思うので必要だと思います。
2-2 2-4	反応や話し方をこだわる意味あるか?	反応をすることで相手に安心感を与え、自信がもてるし、話し方を工夫することには、相手の話をしっかり受け止められないことなので、相手の意見をきくことにもつながるし、「〇〇さんと比較して〜」と工夫することで、互いの考えが深まるので、意味はあると思います。
2-3 3-3	学習会はないのか?	計画表には書いていませんでしたが、後期もやります。
2-3	最初の意見と自分の意見をどのようにつなげるのか?	比較してみたり、最初ではなくても、誰かが自分の意見と似ていたり、そこから分かったことがあれば、「〇〇さんの意見から△△ということが分かりました」というようにつなげられます。
2-4	反応や話し方の工夫はどのようになるものがあるか具体的に教えてほしい	反応の仕方や話し方などは、今後、学習部会で話し合い、提示します。
2-1	バトンだと戻すしかたからないから波にした方がいいと思う。	波だと目的もなく広がっていくけれど、バトンだとゴールに向かってつなげていくので、バトンのままとします。
2-5	加中学習スタンダードの意識が他校の不如なのか?	月目標は加中学習スタンダードをもとにして作成するので、その目標を毎月意識していきましょう。
2-3	振り返ったことは全校に伝えないのか?	取組後は様子や成果を放送で伝えます。
2-3 2-5	休み時間に手洗いをしている姿を見かけないのに授業前学習しないのはなぜか?	コロナ対策はまだ終わっていないので今年はやりません。もし手洗いをしていないのであれば、必ず行ってください。
3-1	学習部としての活動は?	学習部では、協同学習で困っていることの解決、取組の批評、計画に月書いていませんが、2,3月くらいに自学公開も行う予定なので、それの主体となって活動していきます。





# 報道局

加中生一人一人の声を活動に  
反映させ、高まりを実感する

- 取材活動の充実
- 批評



学級	質問内容	質問に対する返答
1-2	取材後、放送は行うのか	取材を通して聞いた各部生徒一人一人の思いは、新聞や放送で伝えたいこと
2-2, 3-3 2-5, 3-4	リクエスト曲以外の番組の作成の例はあるか	インタビュー、学校クイズの実践を考えています。
2-3	取材や幹新聞以外の活動はあるか	各部の活動について放送で批評したり、より楽しめる放送を行う予定です。
2-5	実感とは?	一人一人が各部の活動を通しての姿の向上を日常、行事で感じることです。
3-1	全校レクの幹新聞の内容は	練習の姿やそこから本番までの各部の動き、そして本番の様子、日常とどうつながっているかを伝えます。
3-2	常時活動の徹底とは何をやるのか	放送を行う方法、新聞作成の内容を後期局員に伝えます。
3-2	取材の順番に意味はこめられているのか	取材の前後に行事があり、その部が行事に大きく関わっているときに取材を行います。
3-3	リクエストBOXは使用するのか	なるべく活用できるように活動や放送をしていきたいです。
3-3	求める批評の姿は	客観的に見た活動の様子を伝えるので、それを受け取った側は意見を参考にして、活動をよりよくして欲しいです。
2-2	なぜ報道局員に取材しないのか	報道局が活動を行うため、局員は取材をする側だからです。
3-2	スローガンに込める思いを具体的に	前期各部の活動がとても積極的でした。これらの活動の質をさらに高めたいためには、もっと うした力の納中がよくなると思っている人の考えを取り入れ、様々な面から各部の活動を見直し、発展させる必要 があると思います。このような思いをこのスローガンに込めました。



令和2年度

「一人一人の個性を活かし、仲間と高め合いながら、  
自分たちの質を高める」生徒会



# 後期生徒活動方針・計画に対する質問の返答

